

# ○ 学力・学習状況調査 報告

藤が丘小学校

(教科別学習状況調査結果) (平均正答率%)

教科	国語	算数
全国	67.7	63.4
神奈川県	67	64
藤が丘小学校	73	72

## 国語

すべての領域で、全国平均・神奈川県平均を上回っていました。学習指導要領の観点別に見ると、「知識・技能」は全国平均を6点、「思考・判断・表現」は全国平均を5点上回りました。特に、「知識・技能：言葉の特徴や使い方」、「思考・判断・表現：話すこと」に関する問題の正答率が目立ちました。一方で、「知識・技能：情報の扱い方」、「思考・判断・表現：書くこと」については、全国平均並みでした。昨年度も「書くこと」のポイントは低かった為、本校の児童の苦手とする傾向がわかります。

## 算数

すべての領域で、全国平均・神奈川県平均を上回りました。学習指導要領の観点別に見ると、「知識・技能」は全国平均を10点、「思考・判断・表現」は全国平均を7点上回り、国語よりも高い結果となりました。領域別に見ても、「数と計算」9点、「図形」7点、「変化と関係」13点、「データの活用」6点と、どの領域でも全国平均を上回りました。このことから、数学的な考え方がよく身に付いているといえます。一方で、「円グラフから、2023年の桜の開花日について、4月の割合を読み取って書く」という設問では、全国平均とほぼ変わらない正答率でした。算数でも、国語と同様に「書くこと」に課題が見られました。

## 意識調査

生活習慣、学習習慣共に安定した状況でした。学校生活で友達と協力して楽しく過ごしている項目が全国平均を上回っており、学校生活を楽しんでいることがわかりました。学校以外での活動が多く、放課後に学習塾等での勉強時間が長いこと、休日の勉強時間が長いことが読み取れ、学習に対する意識の高さがうかがえます。「ICT機器の利用」に関する項目では、使用率が全国に比べ大幅に上回っており、ICT機器を使ってよりよい学習につなげている様子が見られました。ただその一方で読書時間を確保することは困難であることもわかりました。今回の結果を踏まえ、今後の指導に生かして改善していきたいと思えます。